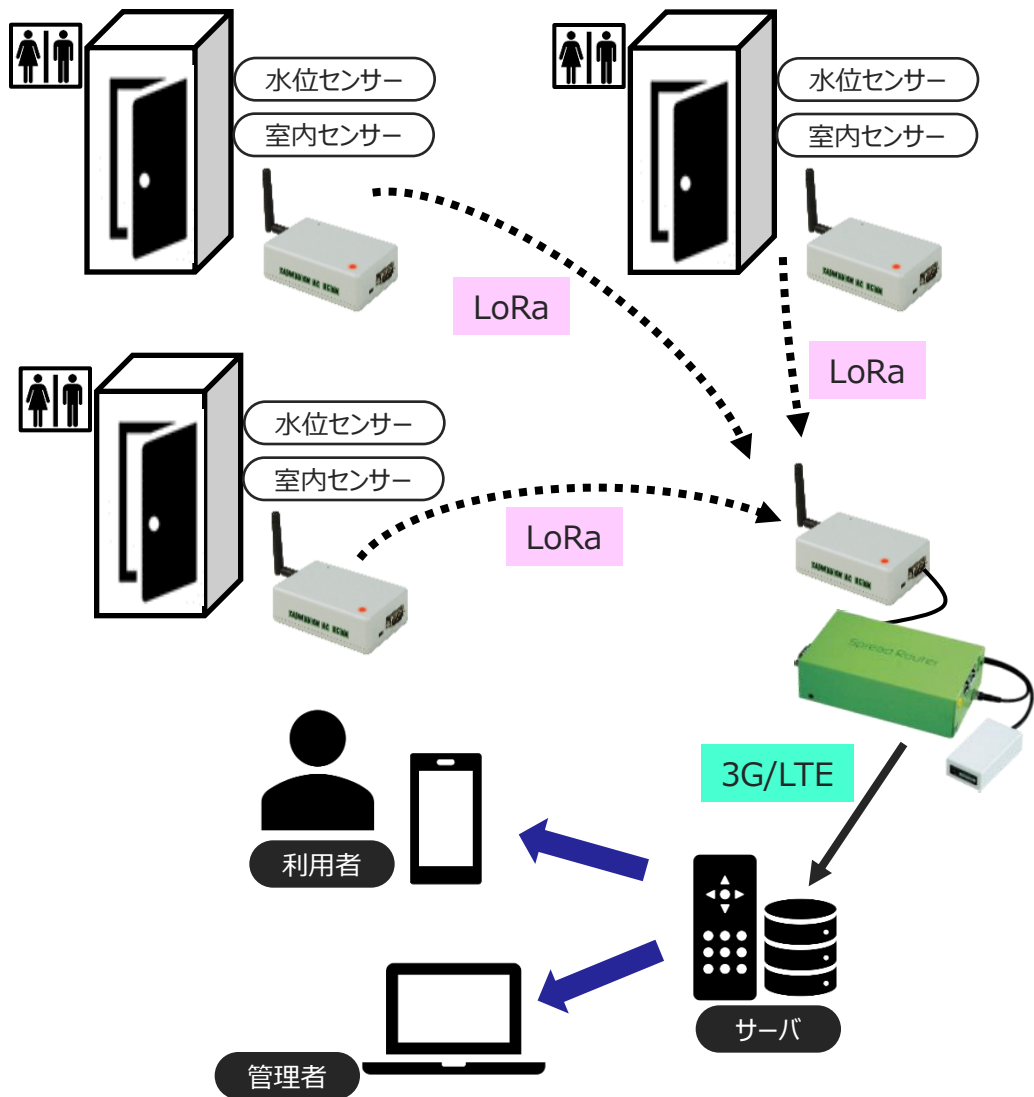


事例48

IoT × サービス



仮説トイレの状態を把握

【 仮説トイレの見える化 】

イベントで多く設置される仮説トイレに水位センサーや室内センサーを取り付け、空き状況や洗浄水の残量、汚物タンクの残容量をLoRaで送信。利用者はサイトにアクセスすれば、空き状況を検索でき、管理者は洗浄水の補給や汚物の汲み取りのタイミングを把握できるようになります。